

# 取水ピットのストレーナーから回収した深海生物－II

須藤裕介・山川伸吾\*・玉城英信・牧野清人

## 1. 目的

深層水取水口からは度々深海生物が迷入し、ポンプのストレーナーで捕獲される。捕獲された深海生物は生物学上の意義が大きい。一方、深海生物を放置すると腐敗により水質汚染の原因となる恐れがある。そこで、深層水取水ポンプのストレーナーを毎日点検し、出現頻度を調べた。

## 2. 材料と方法

深海生物の有無はストレーナーののぞき窓から毎日点検した。ストレーナーの網目は10mmであった。生物を確認した場合はドレーンから回収し、全長と重量の測定及び写真撮影を行った。測定後は10%のホルマリン海水で固定し、標本瓶で保存した。標本瓶に収容できない大型個体は冷凍保存した。標本は2002年の10月2日に広島大学に送付し同定して頂いた。回収期間は2001年4月1日～2002年3月31日であった。

## 3. 結果と考察

深海生物の月別個体数を表1に示した。2001年度に回収した深海生物は、魚類で13種22個体、甲殻類で12種36個体、その他の種で4種4個体の合計62個体であった。採集数の最も多かった月は5月で14個体、少なかった月は1月で1個体であった。また、平成12年度と同様1～3月では回収数が少なかった。これは冬季の取水量が夏季に比べ少ないこと起因する。大型個体はドクウツボで3.60kg、アナゴの一種が3個体で3.50kg・1.9kg、1.2kg、ムラサキヌタウナギで1.95kg、ユメカサゴで0.87kg、ハシキンメで0.32kgであった。

加えて、2001年5月2日にオサテエビ、2001年11月9日にカンテンウミフクロウが回収され、琉球列島久米島沖が両種の新分布地であることを報告した<sup>3) 4)</sup>。

## 4. 要約

- 1) 2000年度にストレーナーから回収した深海生物は合計62個体であった。
- 2) オサテエビ、カンテンウミフクロウについては琉球列島久米島沖を新分布地として報告した。

## 謝辞

深海生物の同定は広島大学生物生産学部の長沼毅氏並びに葉山しおさい博物館の倉持卓司氏に御協力いただいた。ここに記して感謝の意を表す。

---

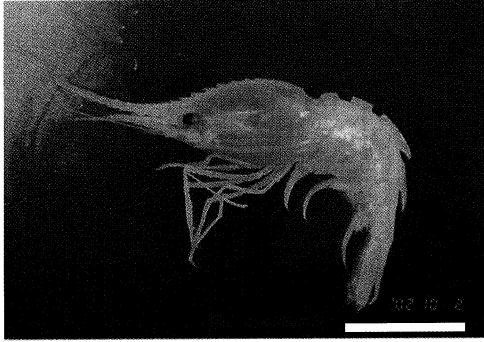
\*：嘱託職員

## 5. 文献

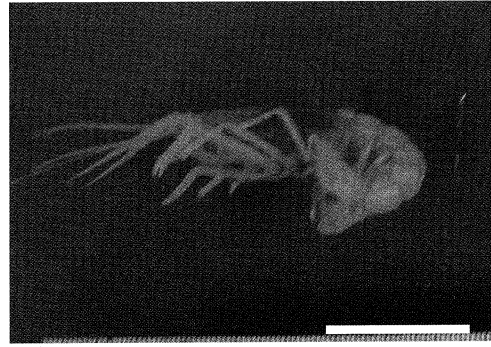
- 1) 中房徹次 (1993) : 日本産魚類検索—全種の同定—
- 2) 日本産魚類大図鑑 (1984) : 益田一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫. 日本産魚類大図鑑. 東海大学出版社.
- 3) 倉持卓司・須藤裕介・小川麻里・玉城英信・当真 武・長沼 毅 (2002) : 琉球列島久米島沖より採集されたカンテンウミフクロウ (側鰓目:ウミフクロウ科). ちりぼたん 33(1/2), 27-29.
- 4) 倉持卓司・須藤裕介・小川麻里・玉城英信・当真 武・長沼 毅 (2002) : 琉球列島久米島沖より採集されたオサテエビ (十脚目:オサテエビ科) の記録. 南紀生物 44(2), 147 - 148.

表 1 深海生物の月別個体数

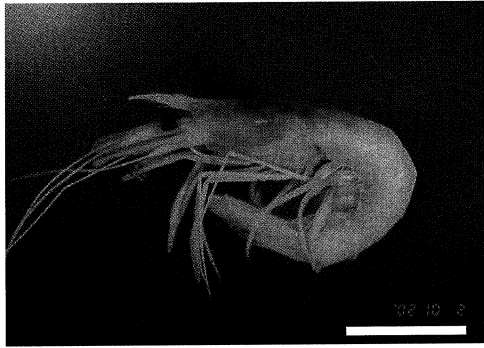
種名	2001年					2002年					計		
	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1月		2	3
魚類													
1 アラハダカ											1		1
2 スズハモ		1											1
3 ソコアナゴ		1											1
4 タイワンヤモリザメ							1						1
5 ドクウツボ			1										1
6 ハシキンメ	1												1
7 パラオイトヒキダラ			1				1		1		1		4
8 ヒウチダイ		1											1
9 ホテイトヒキダラ	1												1
10 ホソフジクジラ								1					1
11 ムラサキヌタウナギ					1								1
12 ユメカサゴ			1										1
13 アナゴ科		2	1	2	2								7
甲殻類													
1 アカモンミノエビ		1				1			1				3
2 ウキエビ		1											1
3 オサテエビ		1											1
4 ジンケンエビ				1				1					2
5 センジュエビ	1					1							2
6 トゲジンケンエビ										1			1
7 トゲヒオドシエビ											1		1
8 ミノエビ		1											1
9 タラバエビ科		3	1				1	1	4				10
10 チヒロエビ科	1												1
11 クダヒゲエビ科		1	1										2
12 エビ科		2	1	1		1		3	3				11
その他													
1 カンテンウミフクロウ								1					1
2 ヒメカンテンナマコ											1		1
3 ナマコの種類											1		1
4 コウイカの種類						1							1
計	4	15	7	4	3	4	3	7	9	1	3	2	合計 62



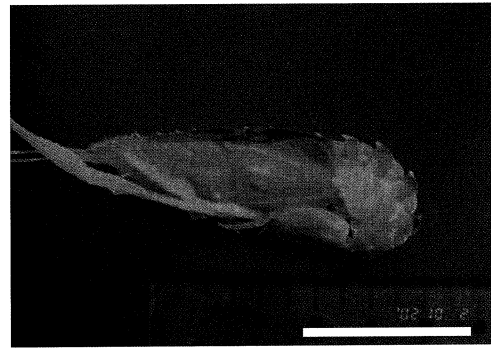
アカモンミノエビ *Heterocarpus ensifer*



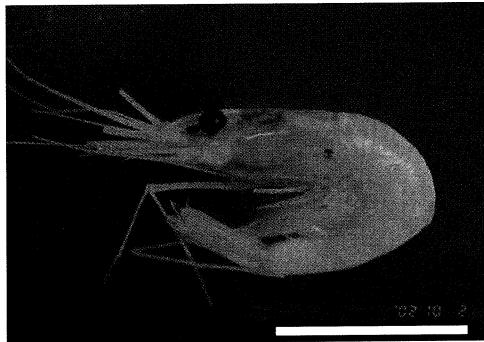
オサテエビ *Thaumastocheles japonicus*



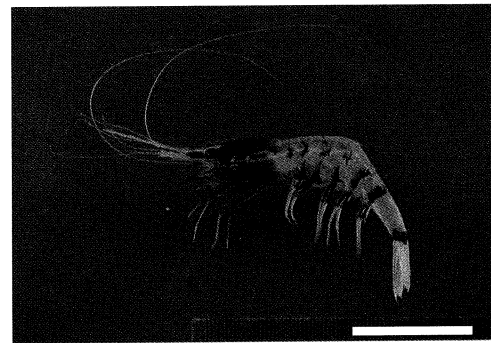
クダヒゲエビ科の一種



センジュエビ *Polycheles typhlops* Heller



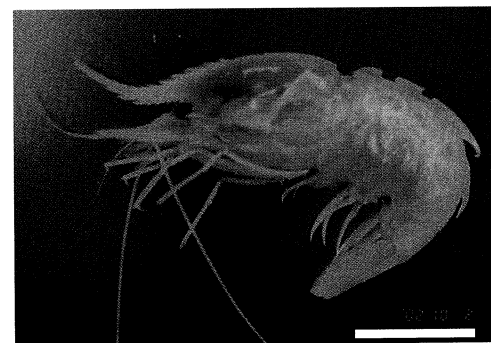
ジンケンエビ *Plesionika martia*



トゲジンケンエビ

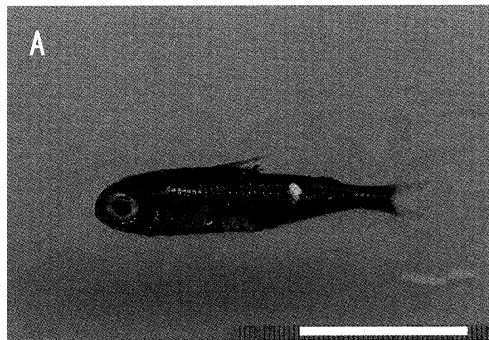


トゲヒオドシエビ *Acanthephyra eximia* Smith



ミノエビ *Heterocarpus sibogae* De Man

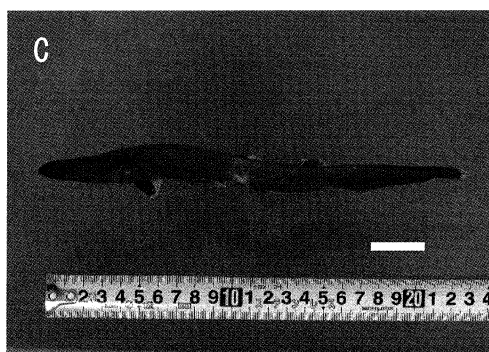
写真1 取水ピットのスレーナーから回収した生物 スケール=3 cm



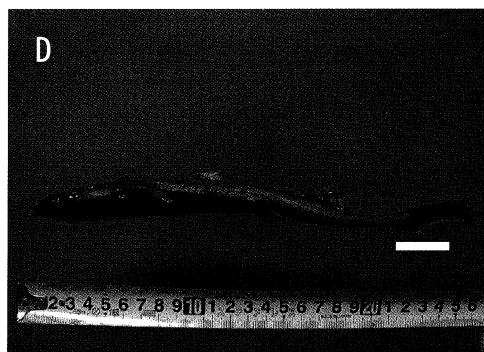
アラハダカ *Myctophum asperum*



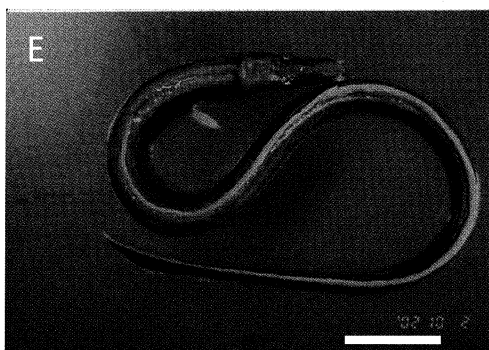
パラオイトヒキダラ *Laemonema palauense*



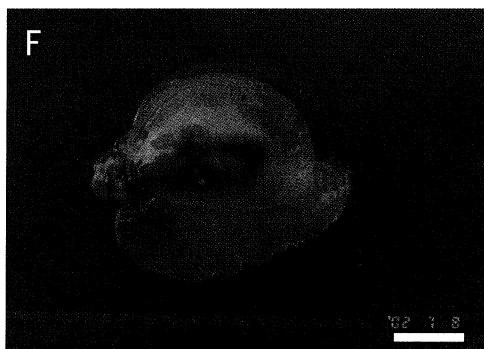
タイワンヤモリサメ *Galeus sauteri*



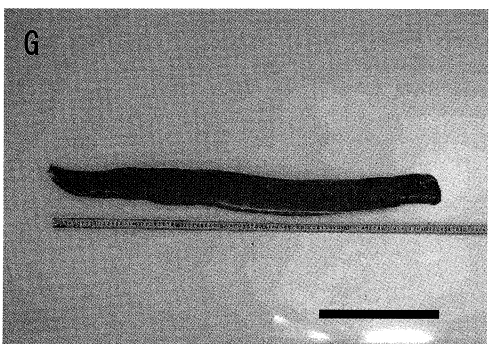
ホソフジクジラ *Etmopterus brachyurus*



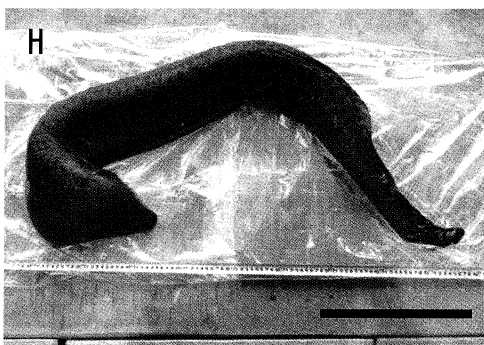
スズハモ *Muraensox yamaguchiensis*



カンテンウミフクロウ  
*Pleurobranchella nicobarica*



ムラサキスタウナギ *Eptatretus okinoseanus*



ドクウツボ *Gymnothorax javanicus*

写真2 取水ピットのスレーナーから回収した生物

スケール：A~F= 3 cm, G・H= 30 cm